

平成24年度大学入試センター試験実施結果

本試験（1/14、15）

1. 実績

	試験場数	試験室数	志願者数	受験者数
本試験	709会場	9,843試験室	555,537人 (対年度△3,447人)	526,182人

2. 本試験第1日目「地理歴史」及び「公民」における問題

【概要】

第1日目第1時限目に実施された「地理歴史」及び「公民」の試験において、開始時間の遅延や試験問題の配布ミスが多発。

- ①試験開始時間を10分以上繰り下げた会場 48会場 4,053人
- ②2教科の問題冊子が配付されず、いずれか
一冊のみの配付で試験を開始した会場 81会場 3,452人

【②に対する対応】

- ・試験会場において、1科目の試験時間60分を確保するよう解答時間を調整。
- ・本人の予定と異なる科目を第1解答科目として提出していないか確認するとともに、そのような場合には、本人の意向を確認の上、第1解答科目に修正。※「第1解答科目」の得点のみを合否判定に用いる大学があるため。
修正を希望した受験生 264人
- ・再試験（1/21、22）を希望する受験生には再試験の機会を提供。

3. 英語リスニング（宮城県気仙沼高校会場）における問題

第1日目最終科目「英語リスニング」（17：10～）の機器が必要個数運び込まれていなかったため、試験開始が2時間遅延。

影響を受けた受験生 202人

4. その他

(1) 英語リスニング（1/14）

<受験者> 513,727人（再開テスト対象者162人、うち受験者155人）

※再開テストのうち、機器の分析が必要なものは138件（昨年87件）

(2) 雪の影響等の交通機関の遅延による試験時間の繰り下げ（最大で60分）

- ・交通機関の遅延 7会場 16人（14日：5会場11人、15日：2会場5人）

再試験・追試験（1/21、22）

1. 実績

	試験場数	試験室数	対象者数	受験希望者数	受験者数
再試験	51会場	51試験室	3,876人	318人	265人

	試験場数	試験室数	受験許可者数	受験者数
追試験	2会場	17試験室	239人	208人

※東京芸術大学及び大阪教育大学で実施。疾病・負傷234人、事故等5人が対象。

2. 「地理歴史」「公民」の問題冊子配付ミスに係る再試験の実施状況について

【概要】

大学入試センター試験（本試験）第1日目（1/14）第1時限目に実施された「地理歴史」及び「公民」の試験において、試験問題の配布ミスがあった試験室在室者を対象（81会場 3,452人）に再試験を実施（1/21）。

（受験希望者） 48会場 243人

（受験者数） 48会場 212人（会場は、大学入試センターを含む）

再試験の当日午前、大学の試験会場に、再試験受験希望者として登録されていない受験生が来校。大学から大学入試センターに確認をした上で、受験は認められないと受験生に回答し、受験生は了解し帰宅。

その後、センター内部において詳細を検証した結果、受験の意思を再度本人に確認した上で再試験を認めることとし、大学入試センター内で当日午後で再試験を実施したものの。

3. その他

（再試験）

（1）英語リスニング（1/21）

＜受験者＞再試験 1人、追試験 170人（追試験・再試験ともに再開テスト0人）

（2）交通機関の遅延による試験時間の繰り下げ（125分）

（追試験1/21）交通機関の遅延 1人（受験者単位での試験時間繰り下げ）

大学入試センター試験のトラブルに係る原因究明及び再発防止の検討について

【文部科学省】

森副大臣のもとに、今回のトラブルに対応するための省内検討チームを立ち上げ（1月18日）、検討を開始。

2月16日付けで外部有識者を加えた検証委員会を発足し、2月22日に第1回委員会を開催。今後、関係団体のヒアリングや入試センターの検証結果の検討等を経て、4月下旬までに対応策等について取りまとめ予定。

【大学入試センター】

外部有識者を加えた検証委員会を発足し、2月3日に第1回委員会を開催。

今後、試験実施機関としての立場から、検証を行い、3月中に検証結果及び対応策等について取りまとめ予定。